

夏休み はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和4年7月21日発行
白糸中学校区「目指す子ども像」
自ら学ぶ子・人とつながる子
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子
HP:shinmaizuru-maizuru.edumap.jp



「やったね。」で終われる夏休みを



真夏の日差しを浴びて、ひまわり学級の畑では大きなヒマワリの花が咲き、1年生のアサガオの鉢には、毎日、たくさんの花が咲いています。

本日、69日間の1学期が終了しました。新しい学年、学級で、子どもたちは毎日様々な活動を通して、成長してきました。大きな事故なく今日を迎えられましたのも、日頃からの保護者の皆様や地域の皆様の温かいご支援やご協力があればこそと感謝しています。ありがとうございました。

猛烈な暑さ、猛烈な雨、いたるところで「猛烈な」という言葉が聞かれ、命を守るための備えを常に意識しなければ、と感じる日々です。また、新型コロナウイルス感染症の拡大もついに「第7波」と言われる状況に見舞われています。夏休みも元気に、一日一日を有意義に過ごしてほしいと願いながら、終業式でこんな話をしました。

夏休みは39日間。学校に登校してくる日は、毎月だいたい20日間なので、2か月分です。学校がある間は、月曜日から金曜日までチャイムが鳴り、次々に勉強をしたり、休み時間に遊んだり、給食を食べたり掃除をしたりと、決まった時間に決まった活動をしています。

でも、明日からはチャイムが鳴りません。(中略)

夏休みの間、朝起きてから、夕方までの間、10時間近くのチャイムが鳴らない時間をどう過ごすのか、おうちの人としっかり話をし、だいたいの生活リズムを決めましょう。そして、夜も早く寝るためにどう過ごすのか話をし、遅くても10時には寝るようにしましょう。……



ぜひ、子どもさんと話をしてください。

「毎日、〇時くらいまでに〇〇ができるようにしましょう。」

決めてもなかなかできないかもしれません。いえ、できない方が多いかもしれません。それが子どもです。

そこでお願いします。もしできたら、「できたね。」と頭を一撫で。全部はできなくても何か一つでもできたら、「今日は〇〇することができたね。明日もできるよね。もう一つくらいできるんじゃないかな。」、次の日、少しでもできることが増えたら、「できたね。」と頭を一撫で。できなかつたら「残念。きっと明日は・・」。子どもたちが少しでも「やらなくちゃ」と思ってしたことを認めてやりたいものです。当たり前前を当たり前にするのは難しいです。できなかつた子どもたちは、実は困っているのかもしれませんが。お休みの日に、決めた生活リズムと一緒に過ごしてやってください。子どもたちのヒントになるかもしれません。

また、夏休みはぜひ、実体験を大事にしてください。洗濯物の取り入れ、掃除などの手伝い、近所の散歩、近所の人たちとの雑談、公園で一緒に遊ぶなど、実際に体を動かしての体験をお願いします。動画やゲームを楽しみ、いろんな知識を持つ子どもたちが多いですが、意外に体験したことのないことが多い子どもたちです。少しの時間でも付き合ってくださいませんか。

何か一つでも「やったね。」と感じて終われる夏休みであることを願っています。おうちの方、地域の方の温かい見守りをよろしくお願いします。ただし、危険なことや人権に関わることをしたり言ったりしていることを見られたら、ぜひ、その場で注意してください。お願いします。39日間の夏休み、子どもたちが安全に過ごせますよう、ご支援をお願いいたします。

校長 小森昌子